



教育実習生を迎えて

令和元年5月27日（月）

本日より3週間、7名の教育実習生を受け入れます。職員朝会において、緊張した面持ちで紹介され、代表が挨拶をしました。全員本校の卒業生です。担当教科は日本史、生物・化学、保健体育、国語、音楽、家庭、英語とバラエティに富んでいます。7名は、それぞれ1年生と2年生のクラスに配属され、教科指導やホームルーム指導等について実習します。放課後には、部活動も体験してもらえたらと思います。この実習を通して、より深く教師という職業についての理解を深め、近い将来、我々の同僚として教育現場で働いてくれることを強く望みます。

1限目には、校長講話ということで、教育実習の心構えについて2点話をさせていただきました。ひとつは、視点を変えることについて。授業をきちんとやることは勿論、生徒との接し方についても配慮が必要です。生徒として見ていた授業や生徒指導を教師という立場でどう対処するのか考えるように求めました。もう一つは、報連相の徹底です。迷うことがあったら遠慮せず、担当の先生に相談してもらいたいと話しました。いずれにしても、母校で教育実習ができるという貴重な機会を最大限活かして欲しいと思います。

